

事業報告

講座名	エコっこスクール2016「親子で化石の採集体験と森の観察」		
日時	平成28年11月20日(日) 9:30~15:00		
場所	美祢市歴史民俗資料館 美祢市化石採集場 森の駅	参加者数	66人 (子ども37人大人29人)

1. スケジュール

9:20~ 9:30	集合、受付
9:30~ 9:35	開講式
9:35~10:00	美祢市の化石についての学習
10:00~10:15	美祢市化石採集場へ移動
10:20~11:35	化石の採集体験
11:40~11:50	森の駅へ移動
12:00~12:10	釜たきごはん体験
12:10~13:00	釜炊きごはんでおにぎり作り、昼食・休憩
13:00~14:00	森の観察
14:00~15:00	木の実などを使ったクラフト
15:00~	アンケート記入・解散

※クラフトが出来上がった順に解散

2. 講師

化石の学習、採集体験	美祢市文化財保護課 主任 篠田健二氏
森の観察	園田秀則氏、山本富男氏
クラフト	園田秀一郎氏、園田智子氏

3. 活動内容

【開講式】

美祢市歴史民俗資料館の1階展示室に集合し、開講の挨拶と講師の篠田さんの紹介を行った。

【美祢市の化石の学習】

講師の篠田さんより、展示してあるパネルや化石を用いて美祢市で採集できる化石の種類と時代について説明があった。美祢市化石採集場は中生代の初めの三畳紀の陸の地層で主に植物(イチョウ、ナギ、トクサ、シダ)が多く採集できる。世界中で見ても三畳紀の地層は植物の化石の発見が多く昆虫化石の発見は数が少ない。美祢では昆虫(ゴキブリ、甲虫類、トンボ等)の化石が多く発見されていて、世界的に見ても貴重な場所である。他にも化石の見つけ方のポイントや石の割り方等の説明もあった。



【化石の採集】

化石採集場で、はじめに篠田氏から化石を採集する際の諸注意などの説明があり、親子で化石の採集を行った。

参加者はそれぞれの場所で石をハンマーで割り、断面を熱心に観察し、化石らしい模様を見つけるとすぐに篠田氏に確認してもらった。

採集できた化石は植物の葉や茎の一部が大半であったが、中には昆虫（甲虫類）の化石を採集した親子もおられた。(写真左下)採集時間は約75分で、化石の種類までは判別できないものも多かったが参加者全員が化石を採集することができた。



【釜炊きごはんでおにぎり作り】

森の駅に移動後、釜炊きごはんの炊き方の見学をし、その後、各班に分かれておにぎりを作り昼食休憩とした。



【森の観察】

参加者66人がと多数のため4班に分け、森の観察と木の実などを使ったクラフトを行った。1、2班は最初に森の観察を行い、その後クラフトを行った。3、4班はクラフトの後に森の観察を行った。

最初に講師の園田秀則氏、山本富男氏の紹介を行い、木には水(養分)が通る小さな穴が開いていることを実験で確認した。水を張った容器に木材を浸け、上から息を吹き込むと水に浸けた方からブクブクと空気が出て、木には水(養分)の通り道があることを確認した。



森の観察では樹木の観察のほかにも樹木の名前の由来やそれぞれの樹木の使用用途の説明などがあつた。手入れがされている山は落ち葉が分解され腐葉土が1年に約1cm堆積する。腐葉土が厚く堆積した山は雨水がゆっくりと浸み込むので、保水力があり自然災害に強い山になる。山が荒れてしまふとなかなかもとに戻らないことなどを学習した。

他にもお茶の葉やニッケの枝をかじり味や匂いを確かめたり、美祢市の炭鉱の歴史の説明や森の遊具(巨大な木の枝に吊るしたブランコ)を体験した。

観察した植物

- | | |
|-------|-----------|
| ・スギ | ・ヒノキ |
| ・クヌギ | ・マタタビ |
| ・エゴノキ | ・ヤマザクラ など |



【木の実などを使ったクラフト】

講師の園田秀一郎氏、園田智子氏から材料の説明やクラフトを行う際の諸注意等の説明があり、その後準備された材料（いろいろなサイズの小枝や枝を切ったもの等）を用い、ホットボンドを使用して作品を作成した。ホットボンドは2、3人程度で共有し、協力しながら使用した。また、木に穴を空けるなどの希望にも園田秀一郎氏が対応した。



材料の選定や加工、油性ペンで色づけをするなど自由に行ったところ、多種多様な作品ができあがった。



クラフト班の終了時間がばらばらになった為、終了した参加者からアンケートを記入後、流れ解散とした。

4. まとめ・感想

当日は朝、化石採集場に向かう途中で雨が降り、化石採集ができるか心配されたが、到着した頃には雨もやみ、無事、化石採集を実施することができた。

化石採集では、子ども達は慣れないハンマーを使い熱心に採集・観察を行い、参加者全員が化石を採集することができた。

森の駅では昨年は講師1人での対応だったため、参加者全員に説明が行き届かなかったため、今年度は講師4人（森の観察2人、クラフト2人）で対応していただき、参加者全員に細やかな対応ができた。森の観察では見る・触る・匂う・食すなど五感を使った体験で低学年の子どもでも理解しやすかったようである。1日を通して、化石の採集や森での体験は日常生活の中ではできないとても貴重な体験になったと思う。

今回は15組40名の募集に対して67組170名の参加申込があり、抽選の結果、26組70名を当選としたが当日は体調不良等で欠席があり参加者は25組66人（子ども37人大人29人）であった。